

令和7年度 学校評価アンケート結果のまとめと考察

〔 九十九里町立豊海小学校 〕

1 学校の教育目標

豊かに育つ豊海っ子 (徳) 豊かな心 (知) 豊かな学び (体) 豊かな体力

2 本年度の重点目標

- 1 やさしく強い心の育成
- 2 基本的な生活習慣の育成
- 3 基礎・基本の定着
- 4 体力・運動能力の向上
- 5 キャリア教育の推進
- 6 安心・安全な環境の構築
- 7 家庭・地域と一層の連携
- 8 働き方改革の一層の推進を図る

3 具体的な評価項目の取り組み、達成状況(別紙「令和7年度アンケート集計まとめ」を基に評価)

A 十分達成されている(100%~85%)

B 達成されている(84%~75%)

C 取り組まれているが成果が十分でない(74%~65%)

D 取り組みが不十分である(64%~)

評価項目と評価	結果及び理由 アンケート結果から
<p>① 学校目標及び基礎・基本の定着を図る。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>	<p>学校教育目標に関する項目①~③においては、②「よく考え学ぶ子」の評価は児童65%、保護者77%、職員70%とやや低くなっているものの、①~③の全体としては保護者・職員ともに85%を超え、年間を通して職員が学校教育目標の実現に向けて取り組んだ成果と言える。⑧「ICTを積極的に活用している」についての回答は児童も保護者も90%を超え、日頃の取組が評価されている。また、⑥「先生は一人ひとりのことを考えている」についての回答は91%の児童が肯定的に回答している。保護者からの合理的配慮等の要望にも積極的に配慮し、個に応じた指導をしていることが伝わっている。⑦「わかりやすい授業を心掛けている」については児童の91%が肯定的に回答している。学習サポーターや専科講師が配置され、授業のサポートを行っていることや町の支援員も2名配置され、配慮が必要な児童への支援も行っている等の実践から、保護者からも93%の肯定的な評価を得ている。今後も一人一人を大切に授業等を心掛けていきたい。</p> <p>次に、④「楽しく学校に通う」については、児童・保護者ともに昨年度(R6:78%・85%)より数値が上がっている。これは、学習指導要領に示された教育課程に沿って学校運営がなされていたこと、各学年の学級経営が教育目標に向かって計画的に行われたこと、運動会、地曳網体験、文化伝承事業、豊海っ子フェスタ、マラソン大会等、魅力的な行事が行われたためと捉えている。</p> <p>昨年も低い数値の⑨「家庭学習や読書の取り組み」については、</p>

	<p>今年度も評価が低い。家庭での学習習慣の定着に向けて、保護者と連携を強化するとともに、家庭学習の方法を今後も検討していく。</p>
<p>今年度の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさかぜタイム（ドリル・読書タイム）の活用、ノート指導の充実と学習に向かう姿勢の支援 ・個に応じた指導の充実（学習サポーター、学習支援員の活用） ・家庭学習週間の位置付けによる自主学習の奨励、自宅でのタブレット学習 ・ICT 支援員による ICT 機器を活用した授業実践 ・認知機能強化トレーニングの実施（週1程度） 	
<p>②安心できる学習環境 ③基本的な生活習慣の育成を図る。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>⑩「あいさつ、基本的な生活習慣」に関する児童の項目は、昨年度（R6：80%）よりも評価が高い。これは、職員が指導している内容に対して、児童も成果を実感できていることや、学校での取り組みが保護者に伝わっていることが理由だと考える。一方で職員の回答は、⑩「あいさつや言葉遣い、整頓等基本的な生活習慣を身に付けようとしている」が67%、⑪「ルールやマナーを守って生活している」が76%と保護者の回答と比較すると差が開き、職員の回答は評価が低い。これは、豊海の児童はもっとできるのではないかと、期待を込めての厳しい評価であると考え。</p> <p>⑫「いじめ等の問題に適切な対応をしている」に肯定的な回答をしている児童は94%、保護者は90%と高い。これは職員のいじめ対策やいじめ対応が児童・保護者に伝わっているためである。</p> <p>⑬の「保護者からの連絡や相談に適切に対応している。」は、保護者の回答が94%と高い。このことから保護者の困り感に対して、個別に対応したり、SC やSSW 等につないだりしていることが保護者に理解されていることがわかる。</p>
<p>今年度の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の充実（月1回学校生活アンケート、学期1回全児童と教育相談、相談ポスト） ・生徒指導委員会での情報の共有、意見交換、対応協議、SC、SSW との連携、町の長欠会議 県の専門支援チームによるケース会議 ・特別支援教育の校内体制の充実（合理的配慮の提供、インクルーシブ教育の推進） 	
<p>④体力・運動能力の向上を図る。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>⑭「体力や運動能力の向上を図っている」の保護者の評価が高いのは、運動会やマラソン大会、業間体育、運動部活動などを効果的に実施していることが、児童の運動意欲を高め、体力の向上につながっていることが保護者にも伝わっているのだと考える。</p>
<p>今年度の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上委員会の定期的な開催 ・業間運動の充実による日常的な運動の実施（マラソン、短縄跳び、長縄跳び） 	

<p>⑤安全指導や保健指導の充実を図る。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>⑭「交通安全や不審者など、安全に配慮している」では、児童も保護者も90%以上と高い。これは、保護者の協力により実施している交通指導や、実際に想定した避難訓練等の活動が保護者に理解されているためだと考える。特に今年度は、10メートル超の津波を想定した徒歩避難・引き渡し訓練（東金アリーナまで）を実施できたことが成果につながっていると考える。</p> <p>⑮「手洗いや歯磨きなど、健康に配慮している」は、児童・保護者ともに肯定的な回答であった。給食後の歯みがきタイムでは、歯みがきの手順を視覚的に示したり、歯科衛生士によるブラッシング指導を行ったりした継続的な指導が評価につながっている。</p>
<p>今年度の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室、避難訓練（地震・津波・火事・不審者対応、引き渡し訓練）、朝の交通指導 保健指導（ブラッシング指導、感染予防、薬物乱用防止教室） 	
<p>⑥「地域とともにある学校」に向けた、家庭・地域とのより一層の連携を図る。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>⑰「学校行事は充実している」⑱「保護者の声を取り入れ、開かれた学校づくりをしている」が90%以上と高い評価を得ている。コミュニティスクールが始まり3年目となり、あらゆる場面で地域との連携を深めることができた。特に「豊海応援隊」の活動では、田植えや稲刈り、郷土芸能鑑賞や「豊海っ子フェスタ」での体験活動等、家庭・地域と協力して教育活動を充実させることができたことが高い評価につながった。</p> <p>⑲「子ども達の様子を学年だよりや学校だよりで伝えている」は、保護者・職員ともに100%に近い高い評価を得ている。一方、児童は63%と大きな開きがある。これは、「すぐーる」での学校・学年だより等の配信により、保護者は今まで以上に情報が得られやすくなった反面、配付物に関して児童を介して伝達する行程が省かれたことによるものと感じる。児童に対しても、学習活動の記録が家庭に届けられていることが分かるよう、伝えていきたい。</p>
<p>今年度の主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクールの実施 豊海応援隊との連携 地域の公の機関との関わり（歯科衛生士による歯科教室・人権教室・租税教室等） 学校だよりや学年だより、コミュニティスクールだよりによる情報発信 	
<p>⑦働き方改革の一層の推進を図る。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>職員の学校評価アンケートの⑳では、86%が肯定的な評価をしている。勤務時間外在校時間調査では、月45時間を超える職員の人数は昨年と比べると増加している月もあれば、減少している月もある。専科職員の配置等により指導時間が削減され、教師の負担感は減っている。しかし、行事が立て込んでいる月はどうしても在校時間が長くなるので、行事の実施時期の見直しや精選が必要であると考える。</p>

今年度の主な取り組み

- 校長のリーダーシップのもと、仕事の削減・効率化・担任の空き時間の確保、時間を意識した働き方、退勤の呼びかけ等に取り組んだ。
- 職員に在校時間の現状を伝える。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
<ul style="list-style-type: none">• よく考え学ぶ子の育成• 家庭学習の習慣化、読書の奨励	<ul style="list-style-type: none">• 保護者の自由記述からも、授業や学習についての意見や学校生活についての意見が多い。職員は研修を進め、指導のスキル向上を目指すとともに、児童との関わりを大切にしていく。• 家庭学習については、実態に合わせた内容の検討が必要であるとを感じる。加えて保護者との連携方法も検討する。読書については、朝のおはなし会や朝の読書タイムなど児童の読書環境の整備に加え、読書時間の確保を行う。